

2019年8月29日

原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(旭川地区)

(2019年10月検針分)

消費税率10%適用

旭川ガス株式会社
(小売登録番号: B0003)

当社では、本日確定した2019年5月から2019年7月の平均原料価格に基づき、2019年10月検針分のガス料金(単位料金)を、2019年9月検針分に比べ1㎡あたり2.55円(税込)上方に調整させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、消費税率の改定(10%)も含めた標準家庭(1ヶ月あたり15㎡ご使用)への影響は、2019年9月検針分と比較して、54円の引き上げとなります。

○一般契約料金

(消費税込)

| | 使用量区分 | 基本料金 (円/月) | 単位料金(円/㎡) | | 影響額 (円/㎡) |
|------|--------------|---------------|-----------|--------|--------------|
| | | | 10月 | 9月 | |
| 料金表A | 0㎡から 18㎡まで | 876.70 | 183.24 | 180.69 | 2.55 |
| 料金表B | 18㎡を超え139㎡まで | 1,483.90 | 150.25 | 148.30 | 1.95 |
| 料金表C | 139㎡を超える場合 | 1,985.50 | 146.64 | 144.76 | 1.88 |

(注)各月のご使用量に応じて、A～Cの各料金が適用されます。

○標準家庭における影響

(消費税込)

| 1ヶ月のご使用量 | 10月のガス料金 | 9月のガス料金 | 影響額 |
|----------|----------|---------|-------|
| 15㎡ | 3,625 円 | 3,571 円 | +54 円 |

(注)標準家庭のガス使用量は、平成23年度の平均使用量実績に基づき算定しています。
10月のガス料金は消費税率10%、9月の消費税税率は消費税率8%で算定しています。

*ガス料金の計算方法

$$\boxed{\text{ガス料金}} = \boxed{\text{基本料金 (税込)}} + \boxed{\text{単位料金 (基準単位料金(税込) + 原料費調整による調整額(税込))}} \times \boxed{\text{使用量}}$$

(円未満切り捨て)

<参考資料>

1.平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均価格} \times 0.0233 \\ &= \underline{53,430} \text{ (円/t)} \times 0.9788 + \underline{53,490} \text{ (円/t)} \times 0.0233 \\ &= \underline{53,540} \text{ (円/t)(10円未満四捨五入)} \end{aligned}$$

■原料価格の動向

(円/t)

| | 2019年5月～2019年7月 (10月検針分) | 2019年4月～2019年6月 (9月検針分) | 基準平均原料価格 |
|----------|-----------------------------|----------------------------|----------|
| 平均原料価格 | 53,540 | 54,430 | 50,150 |
| LNG平均価格 | 53,430 | 54,270 | |
| プロパン平均価格 | 53,490 | 56,080 | |

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= \underline{53,540} \text{ (円/t)} - \underline{50,150} \text{ (円/t)} \\ &= \underline{3,300} \text{ (円/t)(100円未満切捨て)} \end{aligned}$$

2.単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\begin{aligned} \text{単位料金} &= \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額} \\ \text{単位料金調整額} &= 0.081 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \text{原料価格変動額} \text{ / } 100 \text{ (円/t)} \times (1+\text{消費税率}) \\ &= 0.081 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \underline{3,300} \text{ (円/t)} \text{ / } 100 \text{ (円/t)} \times 1.1 \\ &= \underline{2.94} \text{ (円/m}^3\text{)} \quad \text{小数点第3位切捨て} \end{aligned}$$

(※)原料価格変動額100円/tにつき、1m³あたり0.081円調整します

(円/m³)

| | 基準単位料金 | 単位料金調整額 | 10月単位料金 |
|------|--------|---------|---------|
| 料金表A | 180.30 | 2.94 | 183.24 |
| 料金表B | 147.31 | | 150.25 |
| 料金表C | 143.70 | | 146.64 |

(消費税込)

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(50,150円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1m³あたり0.081円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。
- 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が80,240円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は80,240円としてガス料金の調整を行います。